

東部地区(水産)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成25年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H25目標	H25実績	達成率
東部-1	出雲の沿岸漁業活性化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 沿岸漁業の複合経営化として、定置網を営む1経営体がワカメ養殖を開始し、順調に生産物を出荷することができた。 地域ブランド作りでは、「松江イワガキ」の出荷数量の増加や、「中海の養殖アサリ・サルボウ」の初出荷の達成など、当初予定していた取り組みが着実に進んでいる。 	新たに複合経営に取り組む定置網経営体数(経営体)	1	1	100%
			地域ブランド作りへの取り組み地区数(地区)	3	5	167%
			加工品の開発数(個)	2	3	150%
東部-2	藻類養殖振興プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> フリー配偶体技術について、ワカメに関しては概ね技術は確立している。特に、技術導入後の経過年数が長い地区では、普及員による指導がなくても、生産者のみで管理が可能にまで定着してきている。ただし、新規導入者に対しては、技術の安定へ向けて巡回指導の継続が必要と思われる。 ハバリやリ網を使ったワカメの試験養殖については、昨年度、初の年内収穫に成功したものの、その後、時化により施設が破損。今年度はリ網の設置方法を変更して試験を行い、昨年に引き続き、年内収穫を達成したが、昨年同様に波浪により一部施設が損壊。更なる改良が必要。 新規着業者はすでに目標数を達成したが、今年度より新たに1名が新規に着業。更なる着業者の増加に向けて、養殖技術の安定化、種系管理施設の集約化、付加価値向上による所得の向上など、新規着業しやすい環境の整備が必要である。 	種系管理施設数(地区)	10	9	現状維持に対し1減達成
			ワカメ養殖業への新規着業者数(人)	3	8	267%
東部-3	出雲の豊かな川・湖づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 水産資源の回復を図るため、神戸川ではアユの産卵床造成、神西湖ではシジミの天然採苗を実施した。また、この取り組みの手法の改善化を図るため、各種調査を実施した。今後は調査結果を踏まえて、資源回復・管理計画の策定を行なう必要がある。 水産資源の積極的な活用として、神戸川では、パンフレットを用いたシジミのPRや各種イベントにより、流域住民の川へ親しむ機会を増やすことができた。神西湖では、シジミの漁獲量が順調に増加しているが、他産地との差別化や積極的なPR等、販売力強化を図る必要がある。 	(神戸川)遊漁券発行枚数(枚)	400	354	89%
			(神戸川)アユ資源回復計画およびシジミ資源管理計画策定数(個)	0	0	100%
			(神西湖)シジミ漁獲量(トン)	150	179	119%